資料４－１

# 水酸化カリウム産業の現状

令和８年１１月２０日
関税・外国為替等審議会
関税分科会特殊関税部会
経　済　産　業　省

# 水酸化カリウムの概要

## 水酸化カリウムとは

- 水酸化カリウムは無機化学薬品であり、水に溶解させた無色無臭の液体品と白色片状の固形品がある。
- 原料の塩化カリウム（KCl）を水（$H_2O$）に溶解し、電気分解することにより生産される。
- 水酸化カリウムの国内生産者はAGC（株）、（株）大阪ソーダ及び東亞合成（株）の3者。

【外観】



固形品



液体品

※本邦産
（写真提供：カリ電解工業会）

## 水酸化カリウムの主な用途

- 水酸化カリウムは、主として、化学肥料の原料、液体石鹸や洗剤の原料、アルカリ電池の電解液、炭酸カリウム等のカリウム塩類の原料等として、幅広い用途に利用されている。

【用途例】



液体石鹸（右）
（写真提供：カリ電解工業会）

# 水酸化カリウム産業の現状等

- 水酸化カリウムの国外の主な生産国は、韓国、中国、米国等。
- 水酸化カリウムは幅広い用途に用いられる基礎化学品であり、国内の産業基盤を支えている。
- 中国産水酸化カリウムは、平成28年の不当廉売関税の課税措置後、輸入量は減少し、令和3年以降は輸入実績なし。
- 韓国産水酸化カリウムについて、課税措置後も韓国の供給者は継続して価格競争力を維持。その結果、韓国産水酸化カリウムの輸入量は増加傾向であり、令和2年の6,107トンから令和6年7月～令和7年6月には12,369トンに増加し、国内需要量に占める市場占拠率も拡大した。
- 課税措置後もなお、韓国産品を引き合いとした追加的な値下げ要求や、販売量の減少に至った例が確認される等、国内産業は脆弱な状況にある。
- 課税期間が満了した場合には、さらなる低価格輸出を通じて、国内産業に必要な水酸化カリウムを輸入品に大きく依存する状況となるおそれがあり、川下産業を含むサプライチェーン全体に悪影響を及ぼすおそれがある。